

思い出を整理する本

夏も終わりが近づいてきました。今年もすてきな思い出が作れましたか。今日は、写真などの思い出の品を整理する本をご紹介します。

1冊目は、Emi/著『子どもの写真整理術』です。

スマホなどで日常的に写真を撮ることが増え、プリントした写真やデータはたまっていくばかり。増えていく写真の整理に困っているという方も多いのではないのでしょうか。そんな悩みを「とっておきアルバム」ですっきり解消します。著者は双子の育児のかたわら整理収納アドバイザーとしても活躍するワーキングマザーです。1年に1冊、1か月1見開き、コメントは育児日記カードに記入する、という3つのポイントを押さえるだけなので、忙しい人でもできそうですね。

2冊目は、子育てノート研究会/著『子育てがもっと楽しくなるノート&写真整理術』です。

写真のほかにも、整理が難しい子どもの絵や工作などの作品を保存する方法や、子どもと過ごす大切な時間を記録するアイデアが紹介されています。忙しい毎日の中で育児日記をつける時間を捻出するのは大変ですが、手帳や保育園の連絡ノートにちょっとしたイラストを添えてコメントを書き込むことならできそうです。かわいいつぶやきや奇抜なコーディネート、笑える言い間違いなど、時間が経つと忘れてしまいそうなちょっとしたことも、書き留めておくといつでも思い出せて、子どもが成長してから見返すのも楽しいのではないのでしょうか。

3冊目は、やまざきさちえ/著『親子で楽しむ手形アート』です。

誕生日などの記念日に成長の記録としてとることが多い手形や足形が、ちょっとした工夫でアート作品のようになります。水性のスタンプインクで押した手形を動物に見立てて顔や耳を書き、千代紙やマスキングテープを貼って飾り付けるだけで、作品が完成します。手形や足形がベースになっているので、絵心がなくても大丈夫。だれでも簡単にアーティストックな作品が作れます。

子どもの成長はゆっくりのようできて意外に早く、一緒に過ごす時間はそんなに長くはありません。慌ただしい毎日を過ごしていると、日々の小さな出来事は忘れてしまいがちですが、大切な思い出としてアルバムや手帳に残してみたいかがですか。

『子どもの写真整理術』と『親子で楽しむ手形アート』は芸術のコーナーに、『子育てがもっと楽しくなるノート&写真整理術』は子育てコーナーにあります。他にも、写真の上手な撮り方の本、育児日記などもありますので、ぜひご覧ください。